

竹の台総合新聞



2017年(平成29年)
1月30日月曜日
第57号

発行所
竹の台地域委員会
広報部

〒651-2274
神戸市西区竹の台
2丁目20-1
竹の台地域福祉センター内
電話 (078)992-6889
(地域福祉センター)



http://takenodai.net/

もつと駅から近いところがいい6割

西区新庁舎整備について

住民アンケート結果

大方の住民は移転を知っていたが場所までは知らなかった

西区庁舎が西神中央周辺に移転することを聞いていたが、場所までは知らなかった。アンケートの結果、知っている方が63.1%、知らない方が36.9%だった。

また、知っている方の中で、場所まで知っている方が27.3%、場所までは知らない方が72.7%だった。

さらに、以前から候補地まで知っていたという方は67人(27.3%)にとどまり、知らなかったという方は133人(52.7%)だった。

また、以前から候補地まで知っていたという方は67人(27.3%)にとどまり、知らなかったという方は133人(52.7%)だった。

また、以前から候補地まで知っていたという方は67人(27.3%)にとどまり、知らなかったという方は133人(52.7%)だった。

また、以前から候補地まで知っていたという方は67人(27.3%)にとどまり、知らなかったという方は133人(52.7%)だった。

また、以前から候補地まで知っていたという方は67人(27.3%)にとどまり、知らなかったという方は133人(52.7%)だった。

また、以前から候補地まで知っていたという方は67人(27.3%)にとどまり、知らなかったという方は133人(52.7%)だった。

また、以前から候補地まで知っていたという方は67人(27.3%)にとどまり、知らなかったという方は133人(52.7%)だった。

表1 西区役所新庁舎移転をいつ知ったか

① 竹の台総合新庁舎	245人	63.1%
② 竹の台総合新庁舎	106人	27.3%
③ 知らない	35人	9.0%
不明	2人	0.5%

もつと駅から近い方がよい6割

次に設問4の「駅に近い方がよい」と答えた方は67人(27.3%)、駅が近い方がよいと答えた方が133人(52.7%)だった。

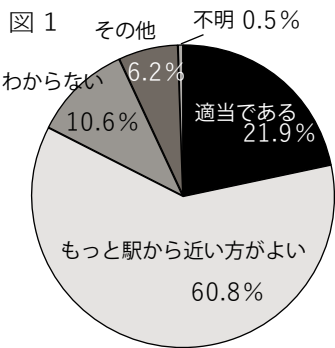


図1 駅に近い方がよいという回答の割合。もつと駅から近い方がよい: 60.8%, 適当である: 21.9%, その他: 10.6%, 不明: 0.5%, わからない: 6.2%

区民まちづくり会議について知らない94%

西区新庁舎整備についての議論の場である「区民まちづくり会議」については、図2(下段右図)のように「あまり知らない」「全く知らない」を合算すると93.5%となりました。

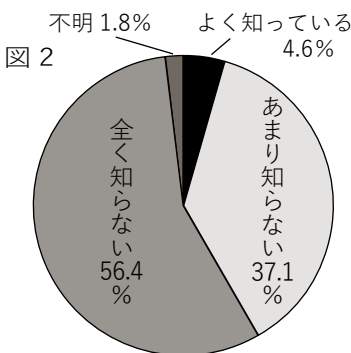


図2 区民まちづくり会議について知らない割合。あまり知らない: 37.1%, 全く知らない: 56.4%, 不明: 1.8%, よく知っている: 4.6%

第14回竹の台ふれあいまつり会計報告

項目	金額(円)	備考
地域委員会	205,587	
自治会・管理組合・管理会	460,000	昨年 410,000 円
地域団体	176,456	青少協、防コミ、スポーツ21等
企業	275,000	広告掲載料
西神中模擬店・直営店売上	182,855	
出店料	21,700	フリマ、手作り品等
テント代等レンタル代	41,300	1丁目・5丁目テントレンタル代等
合計	1,362,898	

項目	金額(円)	備考
運営費	306,691	会議資料印刷、トラック借料、設営材料前日・当日弁当お茶代金券代、保険代
広報費	162,690	竹の台総合新聞 55号印刷代、ポスター印刷、写真撮影代
ステージ設営	572,143	
お楽しみ抽選会	79,910	抽選会賞品代
西神中模擬店・直営店材料代	184,792	
各コーナー運営費	56,672	子どもコーナー、ふれあいコーナー等
合計	1,362,898	

地域の皆様ご協力ありがとうございました

使用されるのか? ・ニュータウン全体のまちづくりの構想が知りたいです。 ・今後ますますの高齢化は避けられず、高齢者利用を考慮してほしい。

アンケートの結果より、ほとんどの住民は区役所の移転は知っているが、場所までは知らなかった。また、西区で区役所移転について議論されている「区民まちづくり会議」についても9割以上が知らなかった。

行政の広報が住民にまでは届いていなかった、住民の知らないところで物事が決められていると言っているのではないだろうか。今後4月に条例に基づくパブリックコメントが実施され、西区の庁舎建設なので、幅広い住民の声をきいて、利用しやすい地に建ててほしい。又、区民センターや図書館等含めて検討してほしい。

なお、アンケートの詳細は竹の台地域コミュニティサイト <http://takenodai.net> (「竹の台」で検索)に掲載しています。

美竹つ子応援団クリーン作戦
まず第1弾は11月29日(火)。小中学校の児童、生徒、先生や、児童館、保育園、幼稚園の先生も参加して、主に公園や幹線道路の落ち葉を掃除しました。

竹の台一斉クリーン作戦
第2弾は12月4日(日)。竹の台地区に25ある自治会・管理組合のうち、15の団体が一斉クリーン作戦に参加しました。以前は個々の団体がバラバラに行っていましたが、団体からの要望を受けて、冬季の掃除は日にちを合わせて実施しています。

例年よりも多くの方に参加していただき、一気にまちがきれいになりました。次年度以降も継続的に取り組んでいきますので、団体や地域のみならずのご協力よろしく願っています。

みなでまちをきれいに
クリーン作戦実施
竹の台は緑あふれるきれいな街ですが、街を彩る紅葉が終わる12月は、落ち葉でいっぱいになります。気持ちよく新しい年を迎えるために、年末、2つのクリーン作戦が行われました。

小・中学生が行った中公園付近
参加者の多かった一斉清掃



道路補修一括申請の取組み

よりよい行政との協働を目指して

始まったきつかけと
メリットは？

竹の台地域では、平成20年から竹の台ふれあいのまちづくり協議会(竹の台地域委員会の前身)が地区内に23ある自治会・戸建て管理会・マンション管理組合の他、婦人会・青少協・老人会などの地域団体に声をかけて、「円卓会議」を開催してきました。「円卓会議」とは、通常の会議とは異なり、何かを決めるのではなく、個々の団体の情報交換や課題を共有、参加者同士が交流することを目的とした会議です。

この会議の中で、道路補修に関して、各自治会が行政に対して個別に補修依頼をしているが、その方法だと行政でも優先順位が分らず後回しにされてしまうこと、申請する自治会と

そうでない自治会があり、同じ地区内でも差が出てしまっていることが話題になり、そこで、竹の台地域委員会が、個別の団体から行政に要望をするのではなく竹の台小学校区全体の計画として市に提出する事によって、行政側も計画的に対応でき、住民側にも必要度の高い箇所から順に修繕してもらえるというメリットが生まれるのではないかと考えました。

翌平成21年度よりこの道路補修の一括申請を始めましたが、当初目的である「地域の中で必要度が高い所から順に・・・」という点は、地域ボランティアによって現状を見て判断したりするのが難しいことと、人と時間がそれだけにかけれない事などから、主として自治会・管理組合・管理会から提出された情報をまとめて、西建設事務所に持参しています。

平成28年度の結果については、すでに西建設事務所から文書回答をいただき、申請のあった各自治会・管理組合にはご連絡をしています。

しかし、竹の台地域委員会には、毎年道路補修に関する自治会・管理組合からご質問が寄せられます。そこで、寄せられたご質問に対し、西建設事務所に答えていただきました。

Q1 道路補修に関して、亀裂や劣化が激しいと思われる箇所があります。補修の基準といものはあるのですか？

A1 市民や自治会の方々からのご連絡、日常のパトロールを踏まえ、異常を発見した場合、現地の状況に応じた補修方法やその範囲を検討し、補修工事を実施しております。

このため、亀裂や劣化が激しい箇所でも、直ちに車両及び歩行者の通行に支障が無い場合は、経過を観察させていただく場合もあります。ご理解のほどよろしく願います。

Q2 街路樹や公園樹木の剪定基準はありますか？

A2 【街路樹について】街路樹は樹木の健全な生育と良好な樹形を保つため、路線ごとの剪定計画に沿って、通常3～5年に一度剪定を行っています。なお、街路樹の枝が隣接の民家に越境している場合や、枝葉が茂りすぎて信号や標識などが見えにくくなっている場合、歩道や車道の低い位置に枝葉が張り出している場合などには、その都度、枝葉の剪定を行います。

【公園樹木について】公園樹木の定期的な剪定は行っていないませんが、枝が隣接の民家に越境したり、公園内の見通しを妨げている等支障となっている場合には、その都度、枝葉の

剪定を行います。

Q3 街路樹が植栽されている道路の落葉清掃についてお考えを聞かせてください。

A3 歩道の落ち葉については、定期的な清掃は行っており、地域の皆様に清掃のご協力をいただいております。毎年落ち葉の時期には、地域委員会を通じて「落葉清掃用ごみ袋」の配布を行っていますので、今後ともご協力をお願いします。

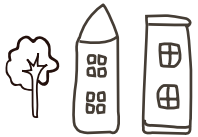
なお、落ち葉が大量に堆積して通行の支障となっている場合には、路面清掃作業を行います。

Q4 「修繕します」との回答がありました。年度内には修繕されていないようです。次年度も再申請する必要がありますか？

A4 交通量や道路の傷み具合を勘案し、西区内の要修繕箇所の中で優先度を決めながら順次施工を進めております。このため、優先度の関係で年度内に施工できなかったものにつきましては、次年度に施工いたしますので、再申請の必要はありません。いましばらくお待ちください。

Q5 個々に補修するのではなく、竹の台全体をエリアに分けて数年かけてエリア毎に道路全体をやりかえる、という方法はとらないのですか？

A5 個々の補修におきましても、限られた予算の中で西区全体での優先度をつけながら対応している状況であり、竹の台地区において全面的な道路のリニューアルをする予定はございません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



団体別懇談会

竹の台では、平成26年に策定された「竹の台5カ年計画」に基づき、地域内にある自治会・管理組合同志の交流・情報交換の場として「懇談会」を実施しています。今年度は昨年度に引き続き団体別の懇談会を実施しました。6月に実施した自治会懇談会は既に報告しましたので、今回は7月3日(日)「マンション管理組合」と、11月6日(日)「戸建て管理組合・管理会」の懇談会実施結果を報告します。

「マンション管理組合懇談会」

竹の台に6つあるマンション管理組合のうち、新しく建設された駅前のマンションも含め4つの団体から20名の方に集まっていたいただきました。

まず、竹の台地域委員会から、竹の台の地域活動について説明したあと、過去の懇談会で問題提起された①役員引継の問題②地域活動の窓口③一人暮らし高齢者の増加・災害時に備えてくなどについて意見交換を行いました。

防災活動やマンション内での交流の取り組み、管理会社や理事会のお茶代などについても話題に上りました。新しくできたマンションでは、コミュニティイベント(マンション内探検で、マンションの仕組みや防災設備を確認するなど・・・)をイベント会社に委託して実施しているという情報もありました。また、

「マンションの中のコミュニケーション形成が今までなされてこなかった。何もない時は良いが、災害・火災・感染症など危機事態が発生したときに、マンション住民全体で話し合い、合意形成していかないといけない。マンションは「規則主義」であり、総会や理事会では、往々にして議論の中心が「規約の解釈」、

スーパー万代の出店により、防犯・風紀上の問題や悪臭などが懸念され、必要があれば6丁目全体の問題として考えて行きたいとの意見も出されました。

その後、東灘区でマンションコミュニティのアドバイザーをされているNPO神戸まちづくり研究所 野崎隆一氏から、マンション内の交流事例や総会・理事会の進め方について次のようなアドバイスをいただきました。

「マンションの中のコミュニケーション形成が今までなされてこなかった。何もない時は良いが、災害・火災・感染症など危機事態が発生したときに、マンション住民全体で話し合い、合意形成していかないといけない。マンションは「規則主義」であり、総会や理事会では、往々にして議論の中心が「規約の解釈」、

「マンションの中のコミュニケーション形成が今までなされてこなかった。何もない時は良いが、災害・火災・感染症など危機事態が発生したときに、マンション住民全体で話し合い、合意形成していかないといけない。マンションは「規則主義」であり、総会や理事会では、往々にして議論の中心が「規約の解釈」、



重箱の隅をつつく議論に時間を割かれているが、本来は「どうやったら良い住み方ができるか」について議論すべき。それを担保するための規則であること。

役員の構成も、男性ばかりではまぐ、男女が混ざっていた方が良い。

会議のすすめ方としては、「マナーとルール」を決めておくことが重要で、守らない会議は上手い出来ない。事前に議案書を配布し、質問や意見は事前に出してもらおう。会議ではその回答を言うことにする。

大規模修繕はコミュニティを作るチャンス。イベント的に行うと住民の関心も高まる。例えば、修繕前に「マンション探検」でマンションの設備をチェック(防水設備や機械室)する。いろいろ決めるごとに「アンケート」を実施し、終わった後は「全員検査」・業者さんに「ありがとう会(懇親会)」をするなど。

老朽化したマンションの建て替え問題が出てきている(明舞団地など)が、「建て替えて住む」「修繕して住む」「違うところに引っ越す」3つの意見をまとめるのは不可能。3通りの意見を満足するような方向で進めて行くのがポイントです。

来年度は、この中の「会議の進め方」について、詳しくお話をお聞きしたいと思っています。



「戸建て管理組合・管理会懇談会」

12団体から各1～2名、18名が参加して、主に私道の移管について情報交換を行いました。5丁目にあるハイライフ竹の台(5)では、一昨年からエリア内の私道の一部を神戸市に寄付することで話を進めています。

その進捗状況について、管理組合長から話をお聞きし、質疑応答を行いました。また、その他にも私道の移管を進め始めているところの状況をお聞きしました。

道路以外の課題としては、会員の高齢化に伴う管理組合運営の難しさなどがだされました。ゴミステーションの掃除など、管理会社任せられているところや、自治体によっては自治会

おいしいお米ができた!

竹の台小5年

12月9日、5年生が、屋根葺き職人の相良氏の手ほどきにより、中庭の「わらぶきハウス」の屋根の葺き替えを行いました。わらは、米作りの藤井名人(水田の持ち主)のお力添えをいただいで育てた「秋う米(あきうまい)」のわらです。10月の稲刈り以来、たけのわら部の方々の世話により干しておいていただいたものを使っての作業でした。

ことも教えていただき、わらを手に取り、足で押さえながら、みんなで一生懸命編んでいきました。黙々としっかりと編まれた『苦』は、名人ほどとはいかないまでも、立派なものがいくつか出来上がりました。

まず、屋根葺きの元になる『苦』を編む作業から教えていただきました。百人一首の天智天皇の歌、「秋の田の かりほの庵の苫をあらみ わが衣手は露にぬれつつ」の『苦』である



一生懸命「苦」を編む子どもたち

「子ども安全対策連絡会議」を

ご存じですか?

「子ども安全対策連絡会議」とは、1学期ごとに1回、年度内に計3回行われている会議で、地域の子どもの安全に関する情報を交換し、内容を検討しています。(場所は竹の台小学校内クラブハウス)。

参加団体は、竹の台小学校、安全対策委員会(竹の台小学校世話係会より)、竹の台地域委員会、竹の台地区防災・防犯福祉コミュニティ、西区青少年育成協議会竹の台支部、神戸西警察ふれあいの会、竹の台まちづくり防犯グループ、3S(保護者安全サークル)です。

去る1月13日に平成28年度最後の会議を開きました。各団体からは、今年度は竹の台地区では大きな事案はなかったもの

屋根に葺く作業は、屋根葺き用の特別な釘を使って、相良氏の見事な技で葺き替えていただきました。高いところでの作業でありながら、手際よく進められる姿に、子供たちは見入っていました。5年生の子どもたちは屋根の一部の葺き替えで終わりましたが、翌日、たけのわら部の方々により、最後まで葺き替えていただきました。

収穫したお米は、12月15日・16日に家庭科「ご飯とみそ汁」の調理実習でおいしくいただき、余すところなく活用する昔からの知恵と技に触れた学習になりました。 5年生担任



屋根葺き職人 相良さん

の、スパー1万代オープン後、車の交通量や動きが変わったこと、子どもたちの行動も変化が見られたことが報告されました。この点に関しては、買い物などの時に、危ない場所を具体的に示しながら、子どもたちに交通ルール・お店の利用の仕方を繰り返し伝えることが大切という意見がでました。

また、あいさつに関しては、登下校の見守りに立って下さっている地域の方や保護者に対して、「あいさつする児童が少ない」という話も出ました。防犯上、知らない人に声を掛けな

いというルールの影響か、またはおしゃべりに夢中になっているためか、見守りに立っている側からは少し残念な状況になっ

ています。あいさつが活発な街は防犯にも強いという話もあるので、「見守りのおじちゃんおばちゃんお兄さんお姉さん」は、きちんとあいさつできるように子どもたちに引き続き教えていきたいと思います。このように地域の子どもたちについての情報交換の場がありますので、皆様も何かお気づきのことがありましたら、身近な参加団体を通して、どうぞお知らせ下さい。

次年度の第一回会議は6月初旬に開催予定です。

(保護者安全サークル3S 小坂



「竹の台子ども安全基金」募金の報告とお願い

昨年10月9日の竹の台ふれあいまつりにて、竹の台子ども安全基金への募金活動を行いました。募金活動に協力して下さった方は、大人6人子ども10人の計16人でした。

当日はハロウィンの仮装をして盛り上げて下さったり、かわいい子どもたちが一生懸命に声を上げてくれたおかげで、募金額8,665円を集めることができました。

今回の募金を含めて、基金より、来年度の新一年生へプレゼントする交通安全旗、及び地域の見守り隊さんへの新しい交通安全旗の購入をす

ることになりました。

募金いただいた皆様、活動にご協力いただいた保護者の方々、子どもたち、当日ブースの一角を快く貸して下さった団体様、ありがとうございました。

引き続き、子ども安全基金では寄付を募っております。

(保護者安全サークル3S 小坂)



【寄付の方法】

- ①10月の竹の台小学校公開ツデーズ、寄付受付を設置
- ②下記の郵便局口座に1,000円を振り込む(手数料はなし)
*どこの郵便局からでも振り込み可能。またATMからも振り込みできます。
口座振込先:郵便局 00940-3-280873
「竹の台子ども安全基金運営委員会」あて
- ③竹の台小学校北校舎の「スポーツクラブハウス」に現金を持参する。
(ただし、火曜日~木曜日の下校時見守りの時間帯でお願いします。)

情報提供・投稿 おまちます
・紙面充実のため、皆様の投稿をお願いします。地域の出来事、詩歌、感想、問題提起、疑問、何でも結構です。
・漫画作者募集
小中高生どなたでもOK。
新聞製作にご協力ください。
ご連絡は、下記まで。
①地域福祉センター
FAX 99216889
(9時~12時 火曜日は休館)
②竹の台コミュニティサイト
http://takenodai.net
(「竹の台」で検索)
お問合せフォームから



神戸市特別防災功労者 受賞
竹の台地域委員会 委員長 寛 進さん

1月23日(月)神戸国際会議場で行われた「地域防災シンポジウム及び防災功労者等表彰式」において、竹の台地域委員会委員長 寛 進さんが防災功労者として神戸市長から表彰を受けました。

この賞は、高い防災意識を持ち、積極的に安全で安心なまちづくりのために活動している団体や個人に贈られるものです。

寛さんは、平成11年の竹の台防災・防犯福祉コミュニティに立ち上げ時から関わり、西神ニュータウン6地区の防災福祉コミュニティ連絡会の会長として10年間活動、西神ニュータウン地区全体の防災活動の底上げを行ってきました。また、民間救命講習団体(FAST)も立ち上げ、救急インストラクターを養成し、地区内の地域団体をはじめ学校、事業所など、多くの方

が市民救命士講習会を受講する機会を作ってきました。

受賞された寛さんから住民のみなさんへのメッセージです。「住民の『安全・安心』は、自治会や地域委員会が中心的に取り組むべき活動の一つです。阪神淡路大震災を機に結成された竹の台防災福祉コミュニティの火を絶やさないよう、震災の経験をされた方や若者など、活動に興味がある方にぜひご参加いただきたい。」



国際会議場での表彰式(右から二人目)

竹の台以外の方もOK

桑ノ木幼稚園 給食スタッフ急募

調理補助 8時~13時

時給 830円

交通費支給

シフト、就業時間等 要相談

楽しく明るい職場です

お問合せ たけのパーク 920-9293
日・月定休 14時~17時



第46回 竹の台朝市
出店者募集

3月5日(日) 10時~12時

場所:竹の台小学校駐車場

出店料無料

お申込み:竹の台地域福祉センター
9時~12時火曜休館 所定の申込用紙に記入の上お申込ください。

Tel.992-6889

広告募集

企業・団体の
広告を募集しています。
竹の台 3,800世帯、
9,100人
が配布エリアです。
1段1/2幅 3千円
2段1/2幅 5千円

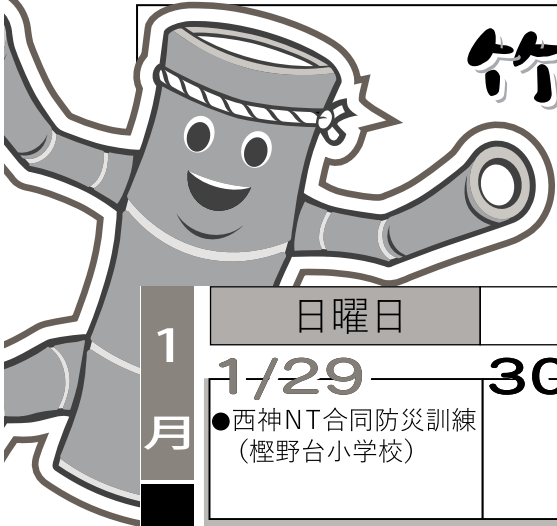


11月13日に実施した竹の台一斉避難訓練の時、一時避難場所から小学校まで避難する様子を写真に撮ってもらった。

編集後記

各自自治会・管理組合の役員の方々の活躍ぶりに感動したのと同時に、竹の台の街並みの美しさに改めて気づいた。紅葉と常緑が入り混じった木々の中を避難している人達。この街並みや、木々の美しさは、大きな財産であり、いつまでも保って行きたいものである。一方、高齢化するまちを実感するような問題も発生している。12月には、たけのパーク隣の駐車場フェンスに紅葉マークを付けた車が突っ込んだ。また、戸建ての一人暮らしの高齢者が孤独死しており、警察や消防が出勤する一幕もあったと聞く。住みやすく住み続けたい街にしていくなためにはどうして行ったらいいのか、街並み(ハード)だけでなく、ハートのケアも必要であろう。

(N・H)



竹の台カレンダー



■大型ごみの収集は受付センターに申込みを！
☎ Tel.392-7953 Fax.392-5500
指定された日に受付番号を記入した紙を貼り、家の前に出します。
ごみだしの詳細は <http://www.city.kobe.lg.jp/life/recycle/waketon/>

スマホでつながる竹の台情報！ 検索または2次元バーコードから



facebook



<https://www.facebook.com/takenodai>

フェイスブックは「竹の台地域委員会」で
色々な情報発信をしています！



twitter



<http://twitter.com/takenodai>

ツイッターもあります。タケくんが
つぶやくよ！フォローしてくださいね。

1月

2月

3月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1/29 ●西神NT合同防災訓練 (榎野台小学校)	30 ●北公園掃除	31	2/1 ●パンブークラブ (高齢者食事会)	2 ●たけのパークケーキフェア	3	4
5 ●防災ワークショップ	6 ●北公園掃除	7	8 ●小学校・地域合同 「昔のあそび」1年生授業	9	10	11 ●建国記念の日
12 ●地蔵公園掃除	13 ●中公園掃除	14 ●西公園掃除	15	16	17	18 ●小学校施設利用 調整会議
19	20 ●北公園掃除	21	22	23	24	25 ●おやじの会
26 ●みそ作り教室 たけのパーク ●竹の地蔵公園掃除	27 ●中公園掃除	28 ●西公園掃除	3/1 ●パンブークラブ (高齢者食事会)	2	3	4 ●小学校学校開放委員会 学校クリーン作戦
5 ●第46回竹の台朝市	6 ●北公園掃除	7	8	9	10 ●卒業式(西神中)	11
12 ●地蔵公園掃除	13 ●中公園掃除	14 ●西公園掃除	15	16	17	18
19	20 ●春分の日 ●北公園掃除	21	22	23 ●卒業式(竹小)	24 ●終業式(小・中)	25 ●おやじの会

燃えるごみ

容器包装プラスチック

燃えないごみ

缶・びん・ペットボトル

カセットボンベ・スプレー缶

※注意:混ぜらないで! 燃えないごみと、カセットボンベ・スプレー缶は別の袋でお願いします。

市民救命士インストラクター募集

私たちは、民間救急講習団体 FAST(First Aid Support Team) 西神 NT6 地区防コミ連絡会で
す。消防署より、救急インストラクターの資格
をいただき、「一家に一人の、市民救命士を」を
スローガンに活動しています。私たちと一緒に
活動してみませんか！

募集内容

5月(予定)に、消防署で行なわれる講習
会に参加し、資格を取得します。その後、
市民救命士講習会を小・中学校や企業、地
域に出向き実施します。
詳細についてのお問い合わせは
山本 090-2350-4118まで

救命の連鎖という言葉をご存知でしょうか？命を救い、社会復帰を導くための
一連の流れを言います。連鎖の最初の3つの輪は、住民により行われることが期
待されます。住民により心肺蘇生が行われた方が、行われないより生存率が高く、
住民が AED を使用した方が、生存率、社会復帰率が高いことがわかっています。



心停止の予防

早期認識と通報

一次救命処置

二次救命処置と
(心肺蘇生と AED) 心拍再開後の集中治療

一人より二人、多くの方が救命処置ができれば助かる命もふえ
るはず。一緒に活動して下さる方、応募お待ちしております。

自治会・管理組合の皆様へ

市民救命士講習会を受講したいけど、どこに連絡すればいいのかな？
そんな時は、ご連絡ください。講習にうかがわせていただきます。
お気軽にご相談ください。

連絡先 山本 Tel 090-2350-4118

グリコピアにいこう！

- 日時 平成29年3月5日(日) 集合12時50分
- 場所 グリコピア神戸(現地集合・現地解散)
- 対象者 幼児～小学生とその保護者(必ず同伴) 先着40名
- 申込み 2月6日から受付「竹の台児童館」に申込書持参 参加料無料

西区青少協竹の台支部主催 連絡先: 竹の台児童館 春井 992-7063

西神の氏神様

諏訪神社

新春厄除招福祈祷受付中

西区榎谷町長谷75
TEL: 078-991-1034

※ご祈祷等のお申込みは
予めお電話下さい

生徒募集

合気道



身体を気持ちよく使いましょう
試合の無い型武道です

《日時》 毎週金曜日 18時～20時40分

《月謝》 子供4,500円 大人6,000円

《入会金》 5,000円

《場所》 たけのプラザ集会所

《お問合せ・お申込み》

琴心館黒木道場 961-0564